## 令和2年度もとみや結婚サポート事業 効果検証結果

資料5

		指標	計画値	実績値	評価検証方法	
	アウトプット	コミュニケーション能力 向上セミナー参加人数 (男女各15名定員分)× 2回	60	29	受付人数	
		コミュニケーション能力 実践イベント参加人数 (男女各10名定員分)× 2回	40	24	受付人数	
		婚活サポーター研修参加人数	40	12	受付人数	
		婚活サポーター制度登 録者数	16	12	登録申請·決定数	
		事前セミナー及び実践 イベント協力者数	12	0	協力対応者実数	
		指標	計画値	実績値	評価検証方法	
		1. コミュニケーション能	力向上セミナー			
測定指標	アウトカム(KPI)	セミナーに参加し、婚活 について具体的にイ メージできた人の割合	95	86.2	アンケート調査	
		セミナー受講後に受講 内容を実践イベントで 実践できた参加者の割 合	95	82.6	アンケート調査	
		セミナー参加者のうち、 講座を友人等に勧めた いと思った人の割合	92	72.4	アンケート調査	
		セミナー受講後に結婚 に対する活動が前向き になった人の割合	60	69	アンケート調査	
		2. コミュニケーション能力実践イベント				
		実践イベントに参加し、 結婚や出会いに対する 意識が変化した人の割 合	95	95.7	アンケート調査	
		実践イベントで自主・自 発的にコミュニケーショ ンが図れた人の割合	82	82.6	アンケート調査	
		今後も意欲的に婚活を 行おうとする実践イベン ト参加者の割合	95	91.3	アンケート調査	
		次回も参加したいと 思った実践イベント参加 者の割合	92	87	アンケート調査	
		参加者のうち、実践イベントを友人等に勧めたいと思った人の割合	92	78.3	アンケート調査	

			3. 婚活サポーターネット	・ワーク連携強化	事業		
			研修会に参加し、具体的なサポートについてイメージできた人の割合	92	90	アンケート調査	
			婚活サポーター制度登録 者のうち、現代の婚活事 情を踏まえて適切にサ ポートできた人の割合	82	90	アンケート調査	
			4. 結婚新生活支援事業				
測定指標	アウトカム(KPI)	支給世帯実績/支給見 込世帯数の割合	80	70	実績値		
		婚姻届提出時における 「本事業の認知度」	65	46.4	アンケート調査		
		補助金申請時における 「地域に応援されていると 感じた世帯の割合」	100	71.4	アンケート調査		
事業の評価	評価	<ul> <li>①参加者について ・新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり結婚希望者向けのセミナー及びイベント、婚活サポーター向けの研修会のいずれも、参加目標人数を大幅に下回る結果となった ・婚活サポーターに係るセミナーの参加者及び婚活サポーター登録者数が伸び悩み、メンバーも固定されている</li> <li>②結婚希望者に関する指標について ・実践イベントがオンライン開催へ変更となったが、グループワーク等の男女の積極的な交流を図った結果、結婚や出会いに対する意識が変化した人の割合が目標値を上回る結果となった ・前年度から継続してフォロー体制の確保やセミナーの活性化を図った結果、自主・自発的なコミュニケーションが図れた人の割合が目標値を上回る結果となった ・一方で、セミナー・実践イベントを友人等に勧めたいと思った人の割合が目標値を大幅に下回るなど、その他の指標では目標値を下回る結果となり、実践に活かせるセミナー等、参加者に魅力的なセミナー・実践イベントの充実が必要である</li> </ul>					
		③婚活サポーターに関する指標について ・現代の婚活事情、相談対応についてのセミナー充実を図った結果、適切にサポートできた人の割合が目標値を上回った ・一方で、具体的なサポートのイメージができた人の割合が目標値を下回る結果となり、より実践的な内容をセミナーに組込む必要がある  ②結婚新生活支援事業について					

## ④結婚新生活支援事業について

- ・平成28年度から実施しているが、令和2年度は過去最多の申請数(7組)という結果となった ・広報・周知の活動が着実に結果に結びついている一方、依然として申請数が少ない傾向にもある ・経済的不安の軽減による結婚の後押しのためにも、婚姻届出前の事前認知度を向上させる取組が必要 であり、一層の広報・周知を図る必要がある

_	I	A44441-017
事業の評価	改善策	(1)参加者について ・結婚希望者向けセミナー及びイベント参加者が少ないことについては、オンラインや新しい生活様式等を 考慮して参加者に安心感を抱かせるイベントを実施する
		②結婚希望者に関する指標について ・セミナーを動画配信し、動画視聴可能期間を長くすることで参加者がより参加しやすく、また実践イベント で結果を出せるように支援することで、参加者に魅力的なセミナー・実践イベントの充実を図る
		③婚活サポーターに関する指標について ・令和3年度から「本宮市縁結びサポート制度」を新たに構築することで、地域の潜在的結婚希望者のマッチング体制を整備する ・併せて、上記制度に近しい他市や県の制度において、発生した事例などをセミナーに取り入れることで、サポート内容の具体化を図る
		④結婚新生活支援事業について ・令和2年度は申請件数が過去最多になったことから、婚姻届出窓口や市内外不動産事業者等に対する チラシ配布、市ホームページ及び広報紙、SNSを活用した広報活動を継続していく
	長期的展望	新型コロナウイルス感染拡大によって変化した婚活事情を勘案して、結婚希望者向けセミナーの開催及び出会いの場を創出するとともに、新規制度によるサポーターの体制及び活動内容の充実を図り、時代の変化に適用した支援を行っていく。 また、こおりやま広域圏及び福島圏域連携推進協議会など、福島県のほぼ中央に位置する本市ならではの広域的な自治体間連携を推進していく。